殿

平成１６年度国家予算編成に関する

雪寒地帯対策関係要望書

平成１５年７月

全国積雪寒冷地帯振興協議会

平成１６年度国家予算編成に関する要望について

雪寒地帯対策の推進につきましては、日頃から格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

雪寒地帯は、良好な自然環境や歴史的・文化的資源が残された多自然居住地域として２１世紀の新たなライフスタイルを実現できる貴重な場として期待されております。

しかしながら、雪寒地帯は宿命的な積雪寒冷などの自然条件がもたらす相対的格差は依然として解消されず、今後とも時代の変化に対応した雪害対策の基盤整備や雪を活用した地域活性化対策の推進が必要であります。

つきましては、政府・国会におかれまして平成１６年度国家予算編成にあたっては、雪寒地帯の実状をご理解いただき、関係予算の確保等、次の要望事項の実現につきまして特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

平成１５年７月

全国積雪寒冷地帯振興協議会

会　　　長

新潟県知事　　　　平　山　征　夫

副　会　長

山形県新庄市長　　髙　橋　榮一郎

副　会　長

新潟県柏崎市長　　西　川　正　純

副　会　長

北海道下川町長　　安　斎　　　保

平成１６年度国家予算編成に関する要望事項

◎　総務省関係

１．山間豪雪地における災害時の情報連絡体制の確保

山間豪雪地における災害時の情報連絡体制を確保するため、移動用通信鉄塔施設整備事業を推進すること。

２．地方債における雪対策事業の推進

一般単独事業債・豪雪対策事業分の需要に応じた起債枠の確保を図ること。

３．防災行政無線の整備

豪雪地帯市町村における防災行政無線の整備を促進するため、高機能情報通信対応防災無線通信設備の予算枠の拡大を図るとともに補助限度額を引き上げること。

◎　文部科学省関係

１．調査研究の促進と研究機関の充実

豪雪対策に関する調査研究の促進を図るため、次の措置を講ずること。

①　長岡雪氷防災研究所および同新庄支所における調査研究の推進と研究機関の充実

②　研究開発費における雪氷災害の発生予測に関する研究費および施設整備費の確保

２．公立文教施設の整備

公立文教施設の整備を促進するため、事業量の確保を図ること。

３．雪冷熱エネルギー活用設備の採択

「環境を考慮した学校施設（エコスクール）の整備推進に関するパイロット・モデル事業」において雪冷熱エネルギー活用設備の採択を図ること。

◎　厚生労働省関係

１．雪冷熱エネルギー活用設備の採択

「社会福祉施設等設備整備費」における「資源有効活用整備費」の対象経費に雪冷熱エネルギー活用設備の採択を図ること。

◎　農林水産省関係

１．雪崩防止対策の推進

雪崩防止対策を促進するため、なだれ防止林造成事業費の確保を図ること。

◎　経済産業省関係

１．雪の冷熱エネルギー活用対策の推進

①地域新エネルギー導入促進事業等で雪の冷熱エネルギーの活用を図ること。

②「環境を考慮した学校施設（エコスクール）の整備推進に関するパイロット・モデル事業」において雪冷熱エネルギー活用設備の採択を図ること。

◎　国土交通省関係

１．豪雪地帯対策特別事業の推進

豪雪地帯における克雪及び利雪・親雪対策を推進するため、「個性と活力に満ちた雪国創造事業」の事業費の確保を図ること。

２．豪雪地帯定住構想の推進

豪雪地帯における住民の定住と地域の活性化を促進するため、豪雪地帯定住構想推進経費の確保を図ること。

３．雪に関する調査研究体制の強化

雪対策を推進するため関係機関との連携を図り、各地域固有の自然的社会的環境に適した雪寒技術の開発を推進すること。

４．総合的雪情報システムの構築の促進

総合的雪情報システムの構築について、具体的構想に早急に取り組むこと。

５．冬期鉄道輸送力の確保

冬期鉄道輸送力の確保のため、防除雪施設等の予算の確保と公共交通の遅延情報の提供、及び鉄道事業者への迅速な除雪体制の整備に対する指導・支援、除雪要員の確保・技術支援を図ること。

６．雪寒事業の推進

①　雪寒事業費の確保と生活路線を重点とした雪寒路線の追加指定

②　「消雪施設管理計画」に基づく消雪パイプ「リフレッシュ事業」の推進

③　市町村道の急坂道路における無散水消雪施設の整備の推進

④　凍雪害防止事業における流雪溝整備の推進

⑤　防雪事業における降積雪量自動観測装置の整備の推進

⑥　除雪レベルの向上に対応した雪寒機械整備の推進

⑦　老朽化した防雪施設（特にスノーシェッド・防雪柵等）の更新及び補強についての補助の拡大

⑧　凍結防止剤散布車整備の推進

⑨　防雪事業における急坂路（縦断勾配）の採択基準の緩和

⑩　除雪事業補助枠の増額

７．路面凍結対策の推進
① 安価で自然にやさしい凍結防止剤並びに路面凍結抑制舗装の研究開発の推進
② 凍結抑制舗装に対する補助措置

８．歩道除雪事業の推進
① 歩道除雪事業の推進を図るため、歩道除雪機械の整備及び除排雪等を考慮した歩道構造の整備を推進すること。
② 市街地におけるバス利用者の安全を図るためバス停留所付近における無散水施設整備を推進すること。

９．特豪代行改築事業の推進
豪雪地帯対策特別措置法第１４条の１０カ年延長による特豪代行改築事業については、集落住民のライフスタイルの変化による集落アクセスの役割変化を勘案した事業採択を図ること。

10. 交流ふれあいトンネル・橋梁整備事業の推進
冬期間交通不能区間の解消、連絡時間の短縮等地域間交流の促進等のため交流ふれあいトンネル・橋梁整備事業を推進すること。

11. スノートピア道路事業の推進
雪に強い街づくりを推進するために、スノートピア道路事業費の大幅確保を図ること。

12. 新世代下水道支援事業におけるリサイクル推進事業枠の確保
市街地における克雪対策を推進するため、新世代下水道支援事業におけるリサイクル推進事業関連費の予算の確保を図ること。

13. 雪崩対策事業の強化
雪崩対策を推進するため、次の措置を講ずること。
① 雪崩対策事業費の確保と総合雪崩対策モデル事業の推進
② 雪崩災害防止技術等の調査研究の推進

14. 河川関連雪対策事業の推進
① 雪対策砂防モデル事業費の確保
② 雪対策ダム事業費の確保
③ 統合河川整備事業費の確保
④ 河川改修事業における雪対策（河川の除排雪機能の付加）の推進

15. 克雪住宅対策の推進
「克雪住宅共同整備事業」について、街路事業、道路整備事業、市街地再開発型区画整理事業等との一体的実施による面的無雪街区整備を促進すること。